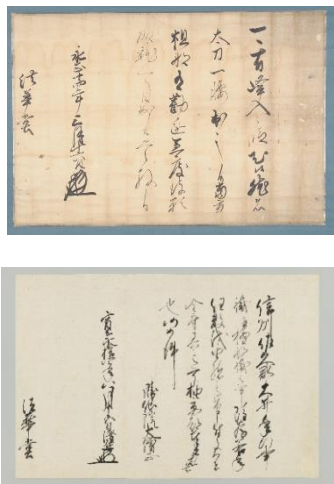




文化財の概要

1 長野県宝に指定する文化財

名称、員数、所在地	所有者	文化財の概要
おおいほっけどうもんじょ 大井法華堂文書 4,405点 附 仏具類 29点 千曲市	長野県	 <ul style="list-style-type: none"> ○大井法華堂は、佐久市岩村田に所在した中世前期に遡る由緒を持つ修験の道場で、その系譜を現代までたどることができる。 ○中世文書は、地方修験が次第に全国教団の中に取り込まれていく過程がわかる全国的にも重要な文書群である。 ○近世文書は、江戸時代の本山派修験における年行事の役割を具体的に伝えるものとして重要で、文書群として長野県内では唯一のものである。 ○地域の修験の道場の文書類等が一括して伝えられたことは全国的に見ても稀有である。

2 長野県天然記念物の指定を解除する文化財

名称、員数、所在地	所有者	文化財の概要
かわじ 川路のネズミサシ 1本 飯田市	飯田市	 <ul style="list-style-type: none"> ○樹高 18m、胸高幹周 3.5m、推定樹齢 1,000 年とネズミサシとしては長野県下随一で全国的にも珍しい大樹であることから、昭和 43 年 3 月 21 日に指定された。 ○令和 4 年の樹木診断では樹幹の腐朽空洞率が 60% を超えた危険木で、今後の樹勢回復が見込めず枯死状態であった。 ○なお、倒木や落枝等による人的・物的被害を未然に防ぐため、現状変更手続きを経て、やむを得ず当該樹木を伐採済である。

<p>おおしお 大塩のイヌザクラ</p> <p>1本</p> <p>大町市</p>	<p>個人</p>		<ul style="list-style-type: none">○樹高 20m、目通り幹周 8.45m でイヌザクラの巨木としては、本県唯一であることから、昭和 37 年 7 月 12 日に指定された。○令和3年6月5日に根元から倒木。根の張りが弱く、樹幹は上部まで空洞化が進み、上部を支えきれなかったことが原因である。○枝葉が保たれ生きている状態であったことから、現地で延命措置を講じてきたが、樹勢回復の見込みはない。
---	-----------	---	--